

# HIROSAKI UNIVERSITY

## VISUAL IDENTITY BASIC MANUAL

ビジュアルアイデンティティ  
運用マニュアル



この運用マニュアルでは、ロゴマーク、ロゴタイプ、徽章、スクールカラー、スローガンなどの基礎的なデザイン要素とその組み合わせパターンについてまとめています。これらを、統一的、継続的に使用していくことにより、弘前大学の教職員・学生のUI(ユニバーシティ・アイデンティティ)意識を高め、「弘前大学とはどういう大学で、何のために存在しているのか」という大学の個性や存在意義を問い直し、ブランドイメージを確立することを目的としています。

## 1 大学の名称

国立大学法人弘前大学の公式な名称および略称を以下のように定めます。

## 和文

大学名称	弘前大学
法人名称	国立大学法人 弘前大学

## 欧文

大学名称	HIROSAKI University
法人名称	National University Corporation HIROSAKI University

※HIROSAKI はオールキャップ表記に統一

## 2 徽章

青森県の津軽地方を支配した大名「津軽氏」は、家紋として「津軽牡丹」を用いていました。その弘前城下にある弘前大学の徽章は、「牡丹」の花がモチーフとされています。



### 3 ロゴマーク

弘前市が全国に誇れる「桜」をモチーフに、5学部の桜が集結し、未来に向けてひとつの大きな花を開花させるというイメージを図案化。

中央にある丸は地球をイメージしており、弘前大学の卒業生がビジネス&研究において優秀な人材として貢献し、世界を飛びまわるという工夫を加えた表現にしております。

また、それぞれのカラーは、5学部のカラーを表現しており、(赤 / 医学部)、(橙 / 教育学部)、(緑 / 農学生命科学部)、(紺 / 理工学部)、(紫 / 人文社会科学部)としています。

さらに、地球の周りに桜を散りばめているようなイメージは、人工衛星的なイメージにも見え「地域発信の拠点となる弘前大学」という意味もあります。

全体の色味として現代風のカラフルな色彩にしており、フレッシュ感と躍動感、そして楽しいキャンパスライフという活気に満ちあふれたマークに仕上がっています。

(制定日：平成18年7月24日)



### 4 スローガン

弘前大学は、「世界に発信し、地域と共に創造する弘前大学」をモットーに、総合大学の機能と特徴を最大限に活用し、地域社会と密接に連携しながら、グローバルな視点に立った教育並びに基礎的、応用的、学際的研究を推進します。その創造的成果をもって、地域社会、国際社会に寄与することを基本理念とします。

和文 **世界に発信し、地域と共に創造する**

欧文 communicating to the world ;  
creating with our community

### 5 大学イメージ ポスター キャッチコピー

弘前大学で学ぶ。それは、弘前という街で大学生活を過ごすことでもあります。適度なサイズ感で、豊かな自然や城下町の文化がある弘前。ここに住む人々と共に地域の中で暮らすことは、学業のみならず人間性を磨くことにもつながる、という価値と魅力を端的に表現しています。

和文 **学ぶ街は、暮らす街でもある。**


欧文 The city of learning is also the city of living.

## 6 シンボルカラー






平成18年7月24日、ロゴマークを制定した際、スクールカラーについても改めて制定しました。

開学以来、伝統的に用いられてきた鮮やかな藍がかった青色、群青です。

### ■ スクールカラー

	COLOR	DIC	Process				Screen		
			C	M	Y	K	R	G	B
スクールカラー		DIC 256	100	85	0	0	0	56	148

### ■ 学部カラー

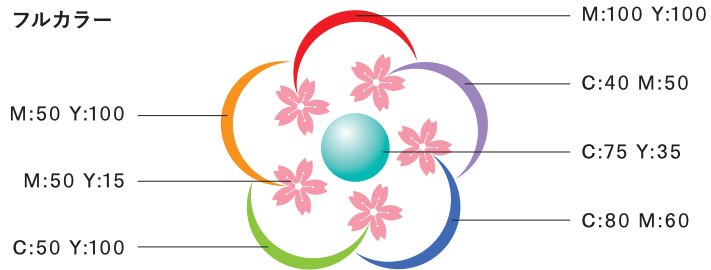
	COLORS	DIC	Process				Screen		
			C	M	Y	K	R	G	B
人文社会科学部		DIC 106	40	50	0	0	153	128	255
教育学部		DIC 164	0	50	100	0	255	128	0
医学部		DIC 2497	0	100	100	0	255	0	0
理工学部		DIC 143	80	60	0	0	51	102	255
農学生命科学部		DIC 211	50	0	100	0	128	255	0

## 7 カラー規定

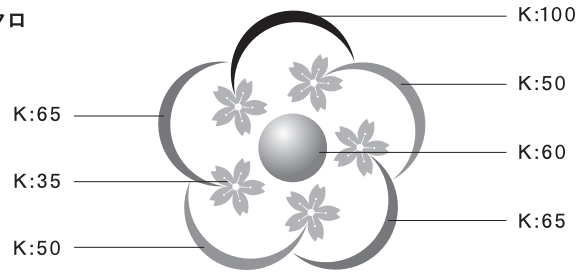
ロゴマーク、ロゴタイプ、徽章のカラーを次のように定めます。

## ■ ロゴマーク

フルカラー



モノクロ



## ■ ロゴタイプ

フルカラー

弘前大学

スクールカラー  
Process / C:100 M:85  
Screen / R:0 G:56 B:148  
DIC / 256

モノクロ

弘前大学

黒  
Process / K:100  
Screen / R:0 G:0 B:0

反転使用

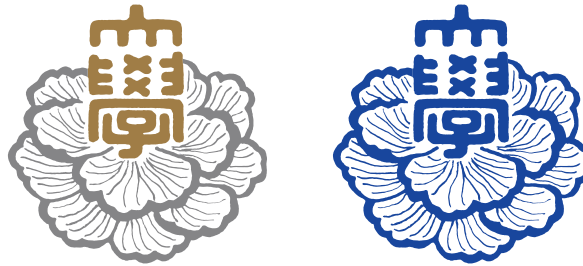
弘前大学

白(文字色)  
Process / K:0  
Screen / R:255 G:255 B:255

※ロゴの境がはっきりする背景に限る

■ 徽章

フルカラー



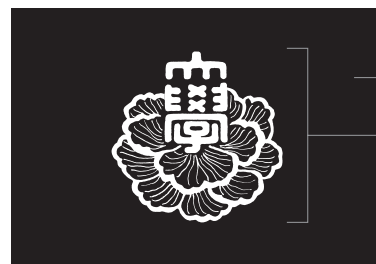
COLORS	DIC	Process				Screen		
		C	M	Y	K	R	G	B
金(大学の文字)	DIC 337	45	53	88	0	141	120	31
銀(花びら)	DIC 550	54	45	44	0	118	141	143
スクールカラー	DIC 256	100	85	0	0	0	56	148

モノクロ



黒  
Process / K:100  
Screen / R:0 G:0 B:0

反転使用



背景色・写真  
白(マーク色)  
Process / K:0  
Screen / R:255 G:255 B:255

※マークの境がはっきりする背景に限る

大学旗



スクールカラー  
フルカラー

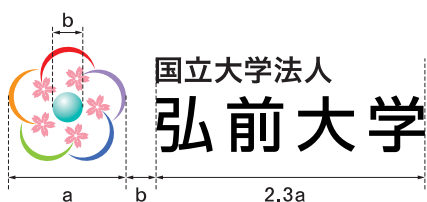
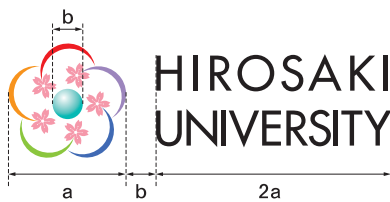
## 8 組合せ(1)

## ロゴマークとロゴタイプの組合せ

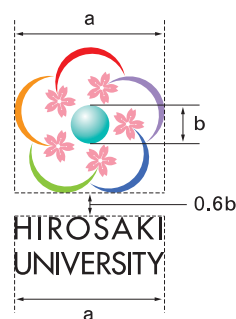
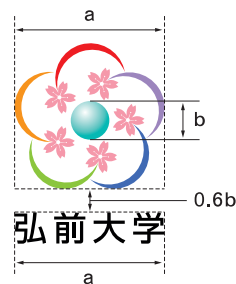
ロゴマークとロゴタイプを組合せる際はそれぞれをセンターに配置し、大きさのバランスを次の比率で使用することとします。

またロゴマークとロゴタイプの間隔は、マークの中心にある円の直径を基準とし、次の比率で使用することとします。

## ■ 横組の場合



## ■ 二段組の場合



## ■ 縦組の場合



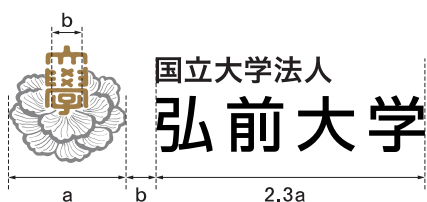
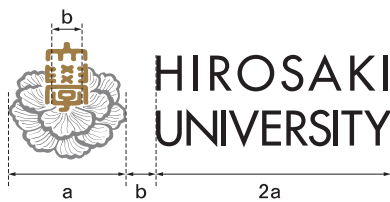
## 9 組合せ(2)

## 徽章とロゴタイプの組合せ

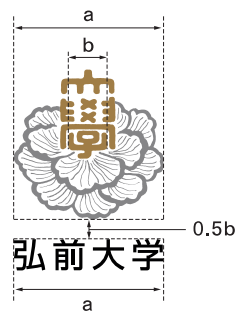
徽章とロゴタイプを組合せる際はそれぞれをセンターに配置し、大きさのバランスを次の比率で使用することとします。

また徽章とロゴタイプの間隔は、徽章の中心にある「子」の文字を基準とし、次の比率で使用することとします。

## ■ 横組の場合



## ■ 二段組の場合



## ■ 縦組の場合





## 10 奨励書体

奨励書体は、おもに名刺や封筒などでロゴマークと組み合わせて使用する際に、視覚的統一感を持たせるために選定された書体です。

## ■和文奨励書体

ゴシックMB101 R	(例) 国立大学法人 弘前大学
-------------	-----------------

代替書体

MSゴシック	(例) 国立大学法人 弘前大学
--------	-----------------

使用例



青森県弘前市文京町1番地 TEL 0172-36-2111

## ■欧文奨励書体

Arial Regular	communicating to the world ; creating with our community
---------------	---

代替書体

Helvetica Regular	communicating to the world ; creating with our community
-------------------	---

使用例



1 Bunkyo-cho, Hirosaki-shi, Aomori-ken,  
036-8560, Japan

## 11 表示禁止例

下記はロゴマークの誤った使用例の一部です。運用にあたってはイメージを損なわないように使用してください。

 <p>指定色以外の表示</p>	 <p>他のデザインの一部としての使用</p>
 <p>マークとロゴの比率を変えての使用</p>	 <p>複雑な背景の上への表示</p>
 <p>フチを付けての使用</p>	 <p>影を付けての使用</p>
 <p>長体・平体・斜体などの変形</p>	 <p>マークとロゴ以外の組み合わせ</p>

デジタルデータ

ロゴマーク等の使用にあたっては次のデータを用意していますのでご利用ください。



A\_01



A\_02-1



A\_02-2

A\_03 弘前大学

A\_04 HIROSAKI UNIVERSITY

A\_05 HIROSAKI  
UNIVERSITY

A\_06 弘前大学  
HIROSAKI UNIVERSITY

A\_07 国立大学法人  
弘前大学

A\_08 国立大学法人  
弘前大学  
HIROSAKI UNIVERSITY

A\_09

弘  
前  
大  
学

A\_10  弘前大学

A\_11  HIROSAKI UNIVERSITY

A\_12  HIROSAKI  
UNIVERSITY

A\_18

A\_13  弘前大学  
HIROSAKI UNIVERSITY



A\_14  国立大学法人  
弘前大学

弘  
前  
大  
学

A\_15  国立大学法人  
弘前大学  
HIROSAKI UNIVERSITY

A\_16  弘前大学

A\_17  HIROSAKI  
UNIVERSITY

A\_19



弘前大学

A\_20



HIROSAKI UNIVERSITY

A\_21



HIROSAKI  
UNIVERSITY

A\_27

A\_22



弘前大学  
HIROSAKI UNIVERSITY



A\_23



国立大学法人  
弘前大学

弘  
前  
大  
学

A\_24



国立大学法人  
弘前大学  
HIROSAKI UNIVERSITY

A\_25



弘前大学

A\_26



HIROSAKI  
UNIVERSITY

A\_28



弘前大学

A\_29



HIROSAKI UNIVERSITY

A\_30



HIROSAKI  
UNIVERSITY

A\_36

A\_31



弘前大学  
HIROSAKI UNIVERSITY



A\_32



国立大学法人  
弘前大学

弘  
前  
大  
学

A\_33



国立大学法人  
弘前大学  
HIROSAKI UNIVERSITY

A\_34

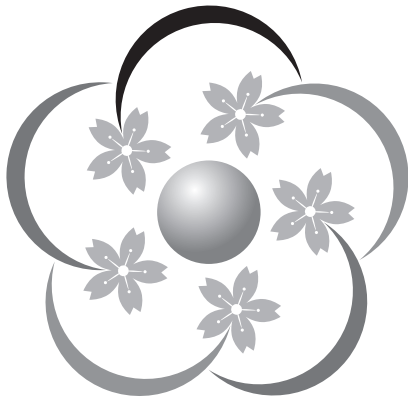


弘前大学

A\_35



HIROSAKI  
UNIVERSITY



B\_01



B\_02

B\_03 弘前大学

B\_04 HIROSAKI UNIVERSITY

B\_05 HIROSAKI  
UNIVERSITY

B\_06 弘前大学  
HIROSAKI UNIVERSITY

B\_07 国立大学法人  
弘前大学

B\_08 国立大学法人  
弘前大学  
HIROSAKI UNIVERSITY

B\_09

弘  
前  
大  
学

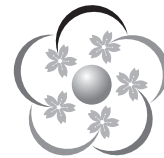
B\_10  弘前大学

B\_11  HIROSAKI UNIVERSITY

B\_12  HIROSAKI  
UNIVERSITY

B\_18


B\_13  弘前大学  
HIROSAKI UNIVERSITY



B\_14  国立大学法人  
弘前大学

弘  
前  
大  
学

B\_15  国立大学法人  
弘前大学  
HIROSAKI UNIVERSITY

B\_16  弘前大学

B\_17  HIROSAKI  
UNIVERSITY



B\_19



弘前大学

B\_20



HIROSAKI UNIVERSITY

B\_21



HIROSAKI  
UNIVERSITY

B\_27

B\_22



弘前大学  
HIROSAKI UNIVERSITY



B\_23



国立大学法人  
弘前大学

弘  
前  
大  
学

B\_24



国立大学法人  
弘前大学  
HIROSAKI UNIVERSITY

B\_25



弘前大学

B\_26



HIROSAKI  
UNIVERSITY

C\_01

学ぶ街は、  
暮らす街でもある。

C\_02

学ぶ街は、  
暮らす街  
でもある。

C\_03

学ぶ街は、暮らす街でもある。

発行：弘前大学総務部広報・情報戦略課広報室  
2022年6月